

【質問】ラスビック点滴静注の禁忌は？

【回答】

ラスビック点滴静注キット 150mg の禁忌は、添付文書において、以下のとおり記載されています。該当する患者さんには、投与しないでください。

2.禁忌(次の患者には投与しないこと)

2.1 本剤の成分又は他のキノロン系抗菌剤に対し過敏症の既往歴のある患者

2.2 QT 延長のある患者(先天性 QT 延長症候群等)[8.3、9.1.2、11.1.4 参照]

2.3 低カリウム血症のある患者[9.1.2、11.1.4 参照]

2.4 クラス I A(キニジン、プロカインアミド等)又はクラスⅢ(アミオダロン、ソタロール等)の抗不整脈薬を投与中の患者[10.1 参照]

2.5 重度の肝機能障害のある患者[9.3.1 参照]

2.6 妊婦又は妊娠している可能性のある女性[9.5 参照]

2.7 小児等[9.7 参照]

<解説>

ラスビック点滴静注キット 150mg は、ラスビック錠 75 mgより投与量が多いため、用量依存的な影響が確認されている QT 間隔の延長が発現するおそれがより高いことから、QT 延長に関する項目が追加されています。

出典:添付文書、インタビューフォーム